



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

2014年(平成26年)
3月19日
(水曜日)

本巢のLFC 実行委員長賞に輝く



従業員とともに受賞を喜ぶ井上社長(前列右から5人目)＝本巢市下福島のLFCで

本巢市下福島の物流会社LFC(井上武社長)が、法政大学院中小企業研究所などが主催する「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞の実行委員長賞を受賞した。高齢になっても働けるように社員の設定がなく、障害者を十人雇用している点などが評価された。

(磯部旭弘)

賞は、社員とその家族を大切にしながら地域社会にも貢献する会社をたたえようと、二〇一〇年度に創設され、四回目。人員整理を過去五年間以上していないことや黒字経営を継続していること、障害者の雇用率が法定以上であることなど五項目が審査条件となっており。LFCの実践のひとつが高齢者雇用。現在、パートを含めた全従業員百三十四人のうち、二割以上に当たる二十八人が六十歳以上。この特別賞は五社が受賞した。贈賞式は二十日に東京都内である。

「大切にしたい会社」大賞で

「大切にしたい会社」という存在でありたい」と意気込む。賞には全国から二十八社が応募があり、中小企業庁長官賞は一社、実行委員長賞は一社、審査委員が独立して設立された。既製の検品や管理、発送が主な業務。井上社長は設立当時、ラブリークイーン(岐阜市)の物流部門が独立して設立された。十八人が六十歳以上。この特別賞は五社が受賞した。贈賞式は二十日に東京都内である。

リークイーンの社長を務めており、当初から「社員満足度をいかに向上させるか腐心した」といって分かるように道具や機器を色分けした。生まれつき足が不自由で、車いすで生活する棚橋良さん(二七)は伝票の整理などを担当。「仕事ができる環境があるだけで、ありがとうございます」と話す。

井上社長は「高齢者や障害者、女性の雇用におけるモデル企業のような存在でありたい」と意気込む。